（三宅町伴堂137-9　TEL/FAX：0745-44-4194）

三宅町は、オカネがないのか？

令和5年9月本会議のふりかえり

9月は前年度の決算をチェック！
オカネがあまったので・・・

　毎年9月の本会議では、前年度（令和4年度）の決算もチェックします。他には、第6回目の補正予算などもチェックしました。
三宅町の財政状況は悪くはない（良い）と数字が出ています。
実質赤字比率・連結赤字比率・将来負担比率の数字はなし（ゼロ）となっています。（※実際の数字が無い場合は「—」と表記。数字の0を入れる場合は、0.0001など0ではないが0とみなしてよい小さい数値というルールがあります）

　しかし、「財政状況が良い」ということと、「サービスの質が良い」ということは関係がありません。
なにもしなければ、財政（数字）は良くなります。「困った助けて」「道を修理して欲しい」等の声が出ても、それに対して何もしなければオカネはたまります。オカネがたまれば財政は良くなります。
　ですので、「財政状況が良い」のであれば、「今のサービスの質は良い」のか、「将来にむけてやるべきことはないのか？」を考える必要があります。

○修正した補正予算案

　今回の補正予算案の中で、削除された事業が二つ。ともに三宅町全体に関わるものです。二つの事業を削除して補正予算を議会が修正しました。
削除した事業の一つは、地域商品券（「お買物券」）5000円を住民全員に配るという約3800万円がかかる事業。
　令和4年度の決算で、余剰金が出た（すなわち、オカネが余った）ので、それを使うとのことでした。
これまでも「お買物券」を何度か発行しています。
　今までは、国からのコロナ補助金を活用していました。今回は、余った一般会計が財源とのこと。

　補助金は使える目的が限られています。使わなければ返します。しかし、一般会計は、三宅町の判断で、どのようにでも使えるオカネです。　他にすべき事業はないのか？ ”今”すべき理由は？ の検討が必要となります。現在、9～12月の間に使える「お買物券」が配布されています。
それに追加で、さらに「お買物券」を必要とする住民さんがおられ、直接、町長サイドにその声を届けてくれたのかもしれません。
しかし、議会に予算の決定権があります。
住民さんの困っているという声は議会にも届けて欲しいです。
（※町長サイドは予算案を作ります。それを決定するのは議会です。この仕組みを「二元代表制」と言います。）

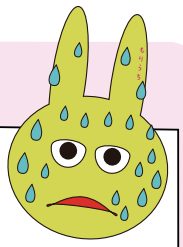
　総務建設常任委員会で、この予算案について審議しました。
当初の予算には計上されていない事業なので、必要な説明がないと、「オカネが余ったから」という理由だけの、「計画性のない気まぐれな事業」だと考えてしまいます。
　スピード感をもって、今すぐ実施することが必要だ、ということであれば、実施は必要ですが、そんな説明はありませんでした。（→ 中へつづく）

森内哲也 活動報告
第25号
2023年~~10~~11月

もりうちてつや
森内哲也
三宅町議会議員
三宅町伴堂137-9
メール：miyake@best-for-u.com
サイト：http://mt.best-for-u.com

詳しくはwebで！

→9月議会の報告（つづき）



　議員になってからヒシヒシと感じているのは、思い付きや、その場しのぎと思われる事業が多いということ。
恋人の聖地、京奈和道路の側道の花壇、キッチンカー、飛鳥川沿いの公衆トイレ、フードフェスタ、小学校と幼児園の間を南に進むと踏切で行き止まりになる道などなど。
いろんなチャレンジをしたあとの失敗も、それはそれで意味があるのかもしれませんが・・・
　先ほど書いたとおり、予算案を作るのは町長サイドですが、それにOKを与えるのは議会。

となると議会も「思い付きや、その場しのぎ」の同罪をまぬがれることはできません。なにを目指しての事業なのか・・・

もうひとつの削除された事業は、20人の職員(全課の部長課長クラス)の研修費で約80万円。個人的には研修にぜひ行って欲しいとは思います。
　しかし、三宅町役場の全課すなわち役場をあげての事業の準備であるなら、職員さん全員に何を目的としていくのか、これからやろうとしている内容の共有など、計画的な準備が必要です。ならば、なぜ計画的に当初予算に組みいれていなかったのでしょうか。
「当初の計画に組み入れたかった。しかし、予算が足りなかった」あるいは、「前倒しでやりたい事業だ!」ということであれば、そういう説明が欲しいところです。
　この予算案の審議中に、傍聴に来てくださった住民さんの意見も聞きました。
（委員長でしたので、委員長特権を行使 しました。「傍聴者にしゃべらすなんて、何やってんだ」という意見も他の議員からありました。しかし住民さんの声を聴くチャンスを逃すなんて、議員としての私には出来ません）
　「部長・課長クラスが研修に行くのもいいが、実際に働く現場の若手職員が行くべきではないか」という意見を住民さんからはいただきました。一理ありです。
　研修として学びたいのは、埼玉県横瀬町（よこぜまち）の「よこらぼ」という取り組み。
三宅町では、横瀬町の「よこらぼ」にちなんで、「Mラボ（仮称）」と呼びます。
「Mラボ（仮称）」は、「企業・団体・個人のみなさんが、実施したいプロジェクト・取り組みを実現するために、三宅町のフィールド・資産を有効に利用し、三宅町がサポートを行う」というものです。
先日（10/14）、横瀬町の町長が来てくださりタウンミーティングが開かれました。
youtubeに動画が掲載されています。ぜひ見て下さい

三宅町 Mラボ 動画　検索

　「アカン」とだけ言う以上に「こうした方がいいのでは？」と提案や代案を出せることを、議会・議員は目指すべきです。余剰金があるなら、どういったところにオカネを使いたい・使うべきであるのか、ぜひご意見下さい。一緒に考えませんか。

実質収支は毎年、黒字だけども、実質単年度収支は、H29年からR1年度までマイナス。心配ないの？

ご紹介【『心でっかちな日本人』山岸俊男 著】

「集団主義文化という幻想」というサブタイトル。日本人が欧米人に比べて、「集団を重んじて行動する」というのは、事実ではない（すなわち“ウソ”だ）と証明しています。
「えッ？マジ？」 マジです。実験によりそれを証明しているのが山岸さんです。
　では、日本人が集団主義的に見えるものは、なに？？
　実験の説明部分は読むのがツラくなりましたが、そこを飛ばしても読む価値あり。
「心でっかち」とは、「頭でっかち」＝「知識ばかりで現実を知りませんよね」、にちなんで、「自分勝手な感覚ばかりで現実を知りませんよね」という筆者の造語。
　空気に逆らって、「正しい」、「間違っている」と言うには何が必要なのか、考えさせられます。廃版ですが、ミイモの図書室で取り寄せ可能。

道路に緑や黄色の線

お気づきかもしれません。
町内の道路に、グリーンのラインがひかれています。
子供たちが登校・下校時に通る部分に色をつけています。
幼児園の駐車場から西門まで、太子道と町道の交差点などに黄色いライン
車での、自転車での、歩行者としての通行時には、ご注意を!!

「自分の町のことを考える」安芸高田市・石丸市長に注目

youtube
三宅町議会
もあるよ

広島県の安芸高田市（あきたかたし）の石丸伸二（いしまるしんじ）市長。

動画サイト（YouTube）で注目されています。市長と議会がバチバチに対立しており、その対立がインターネットで見ることができます。地方自治、首長と議会の関係について考えさせられます。

「百聞は一見に如かず」で、ネットで検索して動画をご覧ください。印象に残っている発言を記します。

「居眠りする、一般質問しない、説明責任を果たさない。これこそが議会軽視の最たる例です。『恥を知れ！恥を！』という声が上がってもおかしくない」（『恥を知れ』の部分が切り抜かれ有名になっています）

「議員のみなさんは、友人知人の代表ではない。住民全員の代表です。全住民に対して『この町を良くしてゆく』という責任があるんですよ」

「刀鍛冶というのは、刀が憎くて叩いているのではない。刀を真っすぐ強く美しくしたいだけ」

「みなさんの代表だと選んだ人が、ゆるんでいませんか？」

「根拠がない批判は、批判でなく誹謗です」

「議論は、生産的であり、建設的なもの。誰かと戦うための手段でなく、誰かと協力するための手段。
より良い解決を見つけようとしない議論は不毛。
やりあっているが、その先に得たいモノがある」

大学ってどうなるの？（大和平野プロジェクト）

三宅町に、県立大学ができるという話は中止

　大学はどうなるの？という声をききますが「中止」です。磯城三町（田原本、川西、三宅）に建設予定だったものはすべて中止です。
ハード事業はやめてソフト事業をやるということで、ソフト事業は現在も残っています。奈良県が主導で実施することになっています。
「eスポーツを利用した高齢者の健康維持。」「目の動きみて判定し認知症の早期発見を行う。」「不登校の児童が通えるメタバースの仮想教室」。こんな感じの事業です。
　山下 奈良県知事の説明では、
「買った土地は企業誘致に使うなどの使い道がある」とのことでした。しかし、この土地は、市街化調整区域・農振農用地・文化財埋蔵地にあたるということで、すぐに企業に売り渡すということは難しいと、実務者レベルで確認しているとのこと。
しばらくは、このままの土地の状態が続くと思われます。
「わが町をどうする？・どうなるのが良いのだ？と、わが町の人たちで考える」ことの良い機会にしたいものです。

※市街化調整区域（しがいかちょうせいくいき）
　市街化調整区域には、原則として建物を建築することはできません。人口増加に関係ない農林水産業の関連施設などは建設可能。

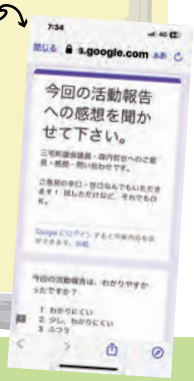
※農振農用地（のうしんのうようち）
　青地（あおち）とも言われる。農業の振興を図るために守る必要のある農地のこと

※メタバース（metaverse）
　インターネット上の仮想空間。利用者はアバターと呼ばれるキャラクタで自分自身の姿をあらわし、仮想空間をあちこちに移動したり、出会った人と会話したりできる。

情報や意見を教えて下さい！

わからんという時はスマホ教室があったはず。
他人に聞くのも生きるすべ

　この欄のQRコードをスマホのカメラで読み込んでください
グーグルフォームという無料のサービスにつながります。→
そこにスマホで書き込むと、森内に届くというものです。→
「なんじゃ、そりゃ？」という好奇心のまま試すも良しです。→



The Privatres（ザ・プライベーツ）の Ex Lovers（エクス・ラバーズ）という曲をご存じでしょうか？
90年代のJ-POPです。
私の青春の一曲です。
今回の活動報告を作っていて、ふと思い出しました。
「恋人の聖地」をやめたということは「元・恋人の聖地」やん～ということは、Ex Lovers 聖地。ということで、この曲が脳裏に浮かびます。
　元・恋人の聖地で失恋ソング・別れの歌を歌うコンサート企画 Ex Lovers Live どうこれ？
三宅でしかできないやん！と、アホなことをまた考えていました。
　元カレ・元カノは、エクスボーイフレンド・エクスガールフレンド
ex-boyfriend / ex-girlfriend
　三宅で星影のワルツを歌おう♪

編集後記

いろいろなご意見をいただいています。メールでも連絡も可能です。家の前には専用ポストもあります。

miyake@best-for-u.com
http://mt.best-for-u.com/